「長良川9.12豪雨災害リレーパネル展」

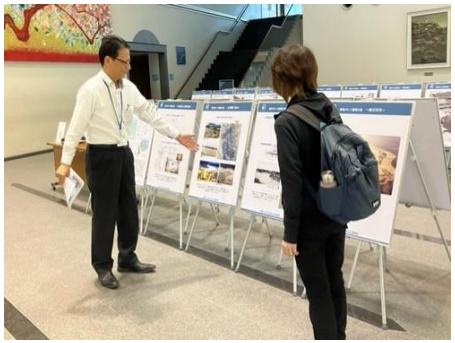
In　瑞穂市総合センター（2026/09/23～09/30）

長良川9.12豪雨災害

木曽川上流河川事務所

昭和51(1976)年、岐阜県安八町での堤防決壊などにより長良川沿いに広く浸水被害をもたらした「長良川9.12豪雨災害」から、今年で50年が経ちました。

自然災害が多発する今、長良川9.12豪雨災害の被害や復旧活動の写真を中心に展示することにより、その時の経験と教訓を次世代へ語り継ぎ、防災意識を高めて地域防災力の向上につなげていくため「リレーパネル展」を開催しています。



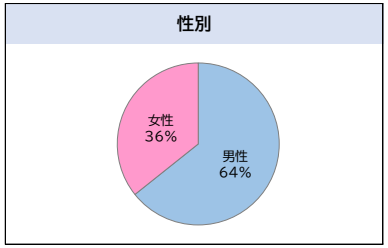
中部地方防災エキスパートによる説明

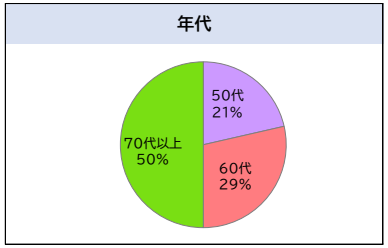


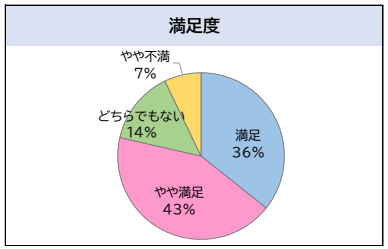


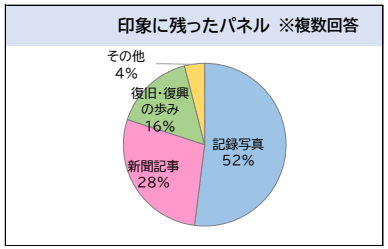
パネル展示

【パネル展に関するアンケートの結果】（回答人数:１４人）









＜アンケート結果のまとめ＞

約8割（79%）の方が「満足」または「やや満足」と回答し、多くの来場者から好評をいただきました。また、記録写真が最も印象に残った展示として挙げられ、当時の災害の状況を伝える資料への関心の高さがうかがわれました。来場者は60～70代以上の方を中心に、豪雨災害の記憶や教訓を振り返る有意義な展示会となりました。

＜パネル展への主な感想＞

- 記録写真や地図を通じて、各地域の被害状況や水害の実態を具体的に知ることができた。
- 同様の災害は身近で発生する可能性があることを再認識し、今後の防災対策や日頃の備えについて考える機会となった。
- パネルサポーターによる説明が分かりやすく、たいへん理解が深まった。
- 瑞穂市の被害写真の追加や継続的な開催など、地域に身近な内容の充実と継続的な啓発を望む声が寄せられた。